【症例報告】

ハトムギ全粒熱水抽出エキス (CRD) 摂取により 爪上皮 (甘皮) の表皮剥離が改善した事例報告 A Case of Excoriation of Cuticle Cured by Intake of Coix-seed Reactive Derivatives (CRD)

鈴木信孝^{1,*}, 許 鳳浩^{1,2}Nobutaka SUZUKI^{1,*}, Hoko KYO^{1,2}¹ 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 臨床研究開発補完代替医療学講座² 医療法人ホスピアー・浦田クリニック

【要 旨】

ハトムギの外殻・薄皮・渋皮を含む全粒熱水抽出エキス (CRD) 摂取により、爪上皮 (甘皮) の表皮剥離が改善した例を初めて報告した。症例は 33 歳女性で、数年前より両手、とくに右第 II 指 (示指) の爪上皮に表皮剥離を認めていたが、CRD 4.0 g/ 日を摂取したところ 8 週間後に軽快した。今後、さらに爪上皮の表皮剥離例の集積を試みる予定である。

【キーワード】

ハトムギ, Coix-seed Reactive Derivatives (CRD), 爪, 爪上皮 (甘皮), 表皮剥離

Case 33 歳 女性 病名 爪上皮の表皮剥離

特記すべき既往歴はなし。数年前より両手の爪上皮の剥離と軽度の手湿疹を認めていた。また、肘、踵部にもかさつきを認めていたという。今回、CRD を 4 g/ 日 (朝 2 g, 夕 2 g) 摂取開始したところ、摂取 4 週目には、爪上皮の鱗屑は減少し、肘、踵部のかさつきも軽減した。さらに、化粧のノリも改善したという。摂取 8 週目には、肘、踵部のかさつきはさらに軽減し、爪上皮の表皮剥離は完治した。Fig.1 は、右第 II 指 (示指) のダーモスコピー像であるが、摂取前に近位後爪郭から、近位側爪郭の爪上皮 (甘皮) に表皮剥離を認めていたものの (Fig.1-a), 摂取 8 週目には、著明に改善した (Fig.1-b)。なお、試験中に、特記すべき副作用を認めなかった。

考 察

爪上皮は一般に甘皮と呼ばれ、欧米ではキューティクル (Cuticle) もしくはエポニキウム (Eponychium) と呼称されている。また、爪郭とは、爪甲の両側縁と爪根を覆い、側爪郭 (Lateral nail fold) と近位後爪郭 (Proximal nail fold) からなり、近位後爪郭からは角層が前方に伸びて爪甲をわずかに覆っているが、これが爪上皮である²⁾。すなわち、爪上皮は近位後爪郭の一番端の部分で 0.5 ~ 1 ミリ程度の狭い幅の薄い皮膚であり、一般に水や雑菌などが直接体内に入り込まないようにブロックする大事な役目を担っているとされている。

ネイルトラブルを抱えている女性は多く、とくに爪囲炎には気を付ける必要がある。炎症は、おもに爪甲周囲の皮

はじめに

我々は、ハトムギの外殻・薄皮・渋皮の食効に着目し、酵素処理を組み合わせたハトムギ全粒熱水抽出物 (CRD: Coix-seed Reactive Derivatives) を研究開発し (日本国特許 第 3590042 号)、皮膚色素沈着に関する 2 重盲検臨床試験を実施し、結果は本学会誌にも報告した¹⁾。この試験の最中、初回の問診で爪上皮に異常を訴えた被検者がいたため、皮膚科医が試験食の摂取前、摂取 4 週目、8 週目にダーモスコピー検査を行い、所見を残した。試験が終了し、キーオープンされた後に当該症例が、CRD 4 g/ 日摂取群に属していることが判明したので、今回、報告する。

受理日: 2020 年 3 月 10 日

* 〒 920-8640 石川県金沢市宝町 13-1 Tel: 076-265-2147 Fax: 076-234-4247 E-mail: pcam@med.kanazawa-u.ac.jp

Fig. 1 Excoriation of cuticle on the right second finger
(Dermoscopic findings)

a: before CRD intake b: CRD 4.0g/day for 8 weeks

※ CRD: Coix-seed Reactive Derivatives

膚や皮下組織に起きることが多く、昔から癰疽と呼ばれ、疼痛の強い細菌性爪囲炎である³⁾。爪囲炎は慢性化すると、痛みがほとんど出現しないことがあり、次第に、爪の色や質が変化し、やがて爪が変形する場合もある。爪周囲炎は、巻き爪の人、深爪の人、いわゆる「ささくれ」が多い人、爪をかじるクセのある人、水仕事（料理人、主婦など）に関わる人、手足が荒れやすい体質の人、指をしゃぶる乳幼児などに多く見られるといわれている。

爪周囲炎の予防法には、指先をいつも清潔に保つ、爪を短く切りすぎない、爪を噛む癖をなおす、ささくれを無理に引っ張らない、水仕事はゴム手袋を着用する、ワセリンを使ったウェットラップ法等々があげられるが、著者らは日ごろから爪上皮の表皮剥離をケアしておくことも重要であろうと考えている。CRD摂取の爪上皮に及ぼす影響に関しては、本例を契機に、皮膚科専門医の協力下に、さらに臨床研究を行っていきたい。

まとめ

CRD摂取が、爪上皮の表皮剥離の修復に有用と思われた例を初めて報告した。今後同様な症例の集積を行っていききたい。

助成元

農商工等連携事業計画認定
第1期（経済産業省、中小企業庁）

利益相反

本試験に用いたハトムギ全粒熱水抽出エキス CRD は著者鈴木信孝らが設立した大学発ベンチャー企業（株）CRDの研究開発食品である。

謝 辞

新井隆成医師，川島拓也医師，橋本慎太郎医師，故 杉田直道医師，(株)JA アグリひみ，JA 氷見市，NPO 法人代替医療科学研究センター他，関係各位に深謝します。

参考文献

- 1) 鈴木信孝，川島拓也，許鳳浩ら，Coix-seed Reactive Derivatives (CRD) の皮膚色素沈着に与える影響に関する研究，日本補完代替医療学会誌，2018;15(2):85-90.
- 2) 清水宏，新しい皮膚科学，第3版，東京，中山書店，2018:27.
- 3) 清水宏，新しい皮膚科学，第3版，東京，中山書店，2018:520.

ABSTRACT

A Case of Excoriation of Cuticle Cured by Intake of Coix-seed Reactive Derivatives (CRD)

Nobutaka SUZUKI¹, Hoko KYO^{1,2}

¹ *Department of Complementary and Alternative Medicine Clinical Research and Development,
Kanazawa University Graduate School of Medical Science*

² *Urata Clinic, Hospy Medical Association*

In this report, we presented the case of a 33-year-old woman who developed excoriation of cuticle on both fingers for over several years. Coix-seed Reactive Derivatives(CRD) was administrated at a dose of 4.0g/day per day. The lesion cured markedly within 8 weeks. Although CRD intake seemed to be effective in this case, further studies are needed to confirmation the efficacy of this food.

Key words: *Coix lacryma-jobi* L. var. *ma-yuen* Stapf, Coix-seed Reactive Derivatives(CRD), nail, cuticle, excoriation